

競技上の注意

第42回道新杯北海道小学生卓球大会
審判長 北里 嘉則

現行の日本卓球ルールを適用して実施する。

1. ボール、ラバー、ラケットについて

- (1) 使用球は「JTAA 公認プラスチック球：40 ミリホワイト」とする。
- (2) ラバーは、片方が黒、他方が黒やボールの色とはっきり区別できる明るい色とする。
- (3) ラバーのラケット本体に対するはみ出しまたは欠損は、±2mm程度を目安とする。
- (4) 外国製のラケットで、JTAA マークの無いものを使用する場合は、競技開始前に審判長の許可を受けなければならない。
- (5) ゲーム間の休憩中や緊急中断中、ラケットはテーブルの上に置いておくこと。
- (6) ラケットの使用しない面でも、使用が禁止されているラバーを貼る事は出来ない。
- (7) 接着剤は、日本卓球協会公認のものでなければならない。

2. サービスについて

- (1) オープンハンドで16センチ以上ほぼ垂直に投げ上げ、落下する途中を打球すること。
- (2) サービスを開始してからボールが打たれるまでの間、ボールは常にプレイングサーフェスよりも高い位置で、サーバー側のエンドラインの後方になければならない。
- (3) サーバーの体の一部や着用している物で、ボールをレシーバーから隠してはならない。また、審判が正規のサービスであるかを確認できるよう行うことは、競技者の責任である。

3. 促進ルールについて

- (1) ゲーム開始後10分経過しても終了しない場合は、促進ルールを適用する。ただし、双方のポイント合計が18点以上(9-9、10-8)の場合は適用されない。
- (2) 促進ルールが適用になった場合は、その試合が終了するまで続行される。

4. 競技者・監督・コーチのバッドマナーについて

- (1) 相手競技者に対し、不当な影響を与え、観客に不快感を与え、またはそのゲームをおとしめる様な癖や態度を慎まなければならない。
- (2) 競技者はポイントが決定した後、速やかに次の体勢をとること。みだりに時間を費やすことはスロープレイであり、注意の対象となる。

5. アドバイザーについて

- (1) 1名のみアドバイザーを認める。
- (2) アドバイスは、ゲーム間の休憩時間と緊急中断中のみ受けられる。これ以外の時間にアドバイスは受けられない。警告の対象となるので注意すること。

6. その他

- (1) 本大会では、タイムアウト制は適用しない。